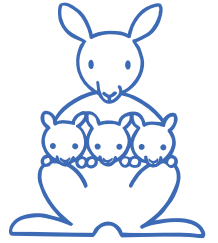


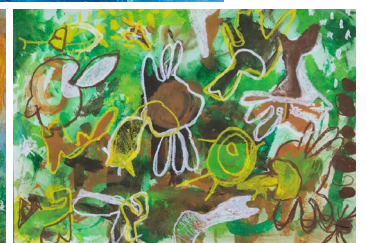
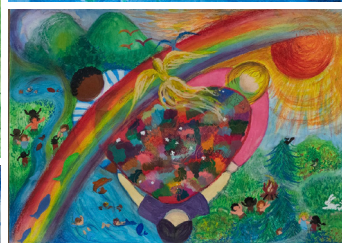
# 全附P連PTA研修会 第13回全国大会 2022



開催スローガン

子どもたちとこの国の未来のために

～附属がこれまでやってきたこと、これからやっていくこと～



**主催** 一般社団法人全国国立大学附属学校PTA連合会（全附P連）

**協力** 全国国立大学附属学校連盟

**後援** 文部科学省  
日本教育大学協会  
全国国立大学附属学校教育後援会連絡協議会

一般社団法人全国国立大学附属学校PTA 連合会（全附P連）

## 「PTA 研修会 第13回全国大会」

### 開催スローガン

子どもたちとこの国の未来のために  
～附属がこれまでやってきたこと、これからやっていくこと～

- 1 開催目的** (1) 日本の公教育を国立大学および附属学校と共に支える全国規模のPTA組織として、その社会的な責任と役割を対外的に強く表明する。  
(2) 日本の将来を背負って立つ子どもの健やかな成長のために、附属学校のあり方を構築していく。  
(3) 全国の附属学校関係者が一堂に会して、直面する全国共通の問題を認識し、解決への道を協議するとともに、さまざまな事例や取り組みを共有する。
- 2 開催日時** 令和4年9月30日（金）～10月1日（土）
- 3 開催場所** ハイアットリージェンシー 東京 地下1階
- 4 参加対象者** 国立大学附属学校の保護者および教職員

全国国立大学附属学校教育後援会連絡協議会（全附後連）  
「教育後援会会長会」同日開催

# ZENFUTURE

# CONTENTS

2 ご挨拶

3 祝 辞

## ≪1日目≫

4 創立 70 周年記念式典

5 記念講演

岸 博幸氏 講演

「SDGs 入門 ～SDGs と日本の未来、今教育に求めること～」

6 特別分科会

「GIGA スクール構想 ～ICT を活用したこれからの PTA 活動～」

7 分科会 1

「学校の働き方改革と今後の地域部活動の在り方」

～「スクール・コミュニティクラブ ひらの倶楽部」のチャレンジ～

8 分科会 2

「感染症から未来を守る」～コロナだけではない感染症の話～

9 分科会 3・幼稚園部会

「附属幼稚園で味わう子育ての楽しみ」～かしこさと非認知能力の育成の秘密～

10 分科会 4・特別支援部会

「みんなの放課後に音楽を！」～元 PTA 会長が広げる余暇の楽しみと笑顔～

## ≪2日目≫

11 基調講演

齋藤 孝氏 講演

「生きる力を育てる学力」

12 省庁行政説明及び全附 P 連活動報告

13 パネルディスカッション

「SDGs から考える～附属のこれまでとこれから～」

学校活動事例 / PTA 活動事例

14 あいサポート運動 / 絵画コンクール 2022

15 販売ブースのご案内

16 大会記念品

20 学校園・参加者数

24 お礼の言葉

25 終わりの言葉

26 大会実行委員名簿

# ご挨拶

## 大竹 昌士

一般社団法人全国国立大学附属学校P T A連合会 会長



全附P連P T A研修会第13回全国大会の開催にあたり、主催者を代表してご挨拶申し上げます。

まずは、コロナ禍の中、子どもたちの学習の機会を確保するため、日々ご尽力いただいている先生方をはじめとする教職員の皆様に改めて感謝申し上げます。

この2年半の間は、全附P連としても様々な制約を受けながらの活動をして参りました。

そのような中、今年度の全国大会は3年ぶりに集合型での開催をすることができました。

さらに、これまでになかった同時オンライン配信、ならびにアーカイブでの配信を合わせたハイブリッド型での開催となり、会場へお越しいただいた参加者だけでなく全国の保護者や教職員の皆様と様々な情報を共有できる全国大会となりました。

コロナ禍の間、あらゆる行動が制約される中で、オンラインを活用した活動が様々な形で行われてきました。

私たちは、どのような困難に向き合っても決して屈することなく、工夫と努力を惜しまず続けてきた結果、コロナ禍以前よりも更に充実した全国大会をお届けすることが出来るようになったと思っております。

今回のテーマは全附P連創立70周年ということもあり、子どもたちとこの国の未来のために～附属がこれまでやってきたこと、これからやっていくこと～と題して、附属学校がこれまで取り組んできたことを振り返りつつ、これから附属学

校が求められていることや使命を皆様と共に考えるプログラムをご用意させていただきました。

今回、参加される皆様、そして、全国でご視聴いただいている皆様と共に、この全国大会を新たなスタートとして迎えられたことに改めて感謝申し上げます。

附属学校を取り巻く環境は、これまでと変わらず改革が求められています。

コロナ禍といえども、平成29年の有識者会議を受けての改革を進めていかなければなりませんし、今年度からは第4期中期目標、中期計画がスタートをしております。

私たちP T A連合会は、全国の附属学校の一番身近な理解者として、大学、附属学校、保護者が三位一体となって改革を進めていけるよう、これからも邁進していく所存です。

全国の附属学校に子どもたちを通わせる保護者の皆様に於かれましても、それぞれの附属学校の良き理解者として協働で取り組んでいただき、これからの日本の教育を共に構築していくことで、附属学校の存在意義を高めていきましょう。

この全国大会が皆様にとって有意義な時間になること、そして、今日学んだことが子どもたちの輝かしい未来に繋がることを祈念しております。

最後になりましたが、本大会のみならず日頃よりご指導、ご鞭撻をいただいております関係各位に心より感謝申し上げます、ご挨拶とさせていただきます。



# 祝辞

## 吉田 裕亮様

令和4年度全国国立大学附属学校連盟理事長

全国国立大学附属学校P T A連合会の創立70周年、誠におめでとうございます。また、あわせましてP T A研修会第13回全国大会のご盛會を心よりお慶び申し上げます。

P T A連合会の皆様には、日頃より各国立大学附属学校園の運営ならびに諸活動にご支援を賜り厚く御礼申し上げます。新型コロナウイルス感染症のため、一昨年度、昨年度と対面参集形式での開催は叶わなかったため、本大会が3年振りの対面参集形式での開催となりました。コロナ禍の中、感染防止対策に十分に配慮した本大会開催に向けてご準備に携わって来られました皆様方のご苦勞を思うに唯々頭の下がる思いでございます。

今年は、明治5年の学制発布により我が国の近代学校制度が始まって150年目にあたり、この記念すべき節目の年に全国国立大学附属学校P T A連合会は創立70周年を迎えられました。また5年毎の国立大学附属学校園のP T A活動の振興に顕著な功績を挙げておられる個人を称える文部科学大臣表彰の年にもあたります。「国立大学附属学校P T Aに係るP T A活動振興功勞者表彰」を授彰されました方々のこれまでの多大なる功績に深く敬意を表しますとともに、心よりお祝い申し上げます。

さて2年間以上にもおよぶコロナ禍により、私たちを取り巻く社会環境は大きく変化しました。またこの変化は私たちに、価値観の変革も要求しているものと考えられます。実際に、Society 5.0の時代を迎え、現在、新たな価値の

創造やイノベーションの創出のために多様性を重視した教育が求められております。I C T機器を活用した子どもたち自身が自分のペースで学びを進めることのできる個別最適な学びの実現に向けた取り組みも、その一環であると言えます。この実現のためには、学校と家庭が連携して子どもたちの学びを支えて行くことが不可欠であると考えられます。この意味でも、P T Aの果たす役割は、今後、より一層大きなものになると思われまます。

全国国立大学附属学校連盟とP T A連合会は、これまで互いに連携してわが国の公教育の根幹を支えて来たものと自負しております。国立大学附属学校園は、高度な教育実践研究により、様々な校種において日本の学校教育を常に先導して参りました。また今日では、国立大学附属学校園は各地域におけるモデル校としての役割も求められております。これは、学校での教科授業内容に留まらず、地域との連携や、P T A活動に関しましても同様にモデル校としての役割が求められているものと考えております。

全国国立大学附属学校連盟は、今後もP T A連合会の70年におよぶ伝統と知見を活かし、緊密な連携の下、様々な課題の解決に向けて取り組んで参りたいと存じます。引き続きのご支援を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、全国国立大学附属学校P T A連合会の今後益々のご発展と日本の学校教育の輝かしい未来を心より祈念いたしまして、私からのお祝いの言葉とさせていただきます。

# 1 目 目

## 創立 70 周年記念式典

センチュリールーム・クリスタルルーム 13:00 ~ 14:30

[司会] 広報委員長 二村 美里

1. 国歌演奏
2. 開式の辞
3. 全附 P 連 70 年の歩み
4. 会長式辞
5. 秋篠宮皇嗣殿下おことば
6. P T A 活動振興功労者表彰授与式
7. P T A 団体表彰授与式
8. 来賓祝辞
9. 受賞者謝辞
10. 閉式の辞

演題

## 「SDGs入門 ～SDGsと日本の未来、 今教育に求めること～」

### 岸 博幸氏

慶應義塾大学大学院 メディアデザイン研究科 教授



#### ■講師プロフィール

通商産業省(現・経済産業省)入省後、コロンビア大学経営大学院にてMBAを取得。竹中平蔵大臣(当時)補佐官、政務秘書官などを務め、構造改革の立案・実行に携わる。現在は、テレビ番組のコメンテーターや講演会など幅広く活躍。広い知見を基に具体例を交えながらの講演は、信頼度も高く好評。

#### ■職歴 経歴

- 1962年 東京都生まれ
- 1986年 一橋大学経済学部卒業
- 1986年 通商産業省入省(産業政策局、通商産業研究所等を経て)
- 1990年 コロンビア大学ビジネススクール留学(機械情報産業局、通商政策局等を経て)
- 1995年 朝鮮半島エネルギー開発機構(KEDO)出向
- 1998年 通商産業省資源エネルギー庁に復職
- 2000年 内閣官房IT担当室に出向
- 2001年 経済財政政策担当大臣補佐官
- 2002年 金融担当大臣補佐官を兼任
- 2004年 経済財政政策担当大臣・郵政民営化担当大臣秘書官
- 2005年 総務大臣秘書官
- 2006年 経済産業省退官 慶應義塾大学DMC統合研究機構助教授に就任
- 2008年 慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科教授に就任
- 2021年 菅義偉内閣において内閣官房参与に任命される。  
成長戦略や規制改革、経済広報戦略などの分野を担当。  
その他、エイベックス取締役、ポリシーウォッチ・ジャパン取締役などを兼任。

#### ■著書など

『オリンピック恐慌』(幻冬舎)『アマゾン、アップルが日本を蝕む』(PHP出版)『ネット帝国主義と日本の敗北』(幻冬舎)『脱藩官僚、霞ヶ関に宣戦布告!』(共著:朝日新聞出版)『ブレインの戦略』(あさ出版)『クリエイティブ国富論』(ダイヤモンド・オンライン連載)『コンテンツ立国の処方箋』(日経トレンディ・ネット連載)

テーマ

## 「GIGAスクール構想 ～ICTを活用したこれからのPTA活動～」

全国国公立PTA4団体による合同事業としてGIGAスクール時代のICTを活用したPTA活動事例と先進的な取り組みの発表を行います。次に千葉大学教育学部教授である藤川大祐先生をお招きし、「GIGAスクール構想におけるICTを活用したこれからのPTA活動の展望と課題」について講演を実施します。そして、PTA活動の現状と未来を見据えた今後の展望を考えるパネルディスカッションを安心ネット推進協議会理事及び4団体の代表者をお招きします。

### <発表者>

大泉 勉氏 千葉大学教育学部附属小学校 PTA 会長

熊谷 弘氏 長野県PTA連合会 会長

### <講演>

藤川 大祐氏 千葉大学教育学部 教授

### <パネリスト>

上沼 紫野氏 安心ネットづくり促進協議会 理事

金田 淳氏 (公社) 日本PTA全国協議会 会長

山田 博章氏 (一社) 全国高等学校PTA連合会 会長

山崎 篤史氏 全国国公立幼稚園・こども園PTA連絡協議会 会長

大竹 昌士 (一社) 全国国立大学附属学校PTA連合会 会長

### <コーディネーター>

神余 智夫 (一社) 全国国立大学附属学校PTA連合会 直前会長

### <助言者>

黄地 吉隆氏 文部科学省 総合教育政策局 地域学習推進課 課長

### <次第>

1. 開会・主催者代表挨拶
2. ICTを活用したPTA活動事例の発表
3. 藤川先生講演
4. パネルディスカッション
5. まとめ(助言者より)
6. 総括



テーマ

## 「学校の働き方改革と今後の地域部活動の在り方」 ～「スクール・コミュニティクラブ ひらの倶楽部」のチャレンジ～

文部科学省は、令和2年9月に学校の働き方改革の観点から部活動を地域へ移行する方針を示しました。そしてスポーツ庁は、令和5年～7年度を部活動地域移行の「改革集中期間」とする提言案をだしています。

部活動の地域移行には、「保護者・生徒および教員等への説明・理解」「受け皿団体の持続可能性」「活動費用の確保」「施設使用料」「指導者等の育成・確保」「対外試合への対応」等の課題があります。そして、今後生徒や教員が地域部活動として活動するには、学校内に受け皿組織をつくるか外部の団体と学校が連携・協働するかのどちらかの選択となります。その選択基準は、どちらがより安価でより多くの生徒にスポーツや音楽・芸術を楽しむ場を提供できるかだと考えます。

大阪教育大学附属高等学校平野校舎では、外部団体との連携する場合、費用が高額になることや契約条件が合わなくなり撤退される可能性があることから前者を選択し、令和3年3月に「スクール・コミュニティクラブひらの倶楽部」を設立しました。分科会では、部活動が地域移行すると何がどう変わるのかについて、ひらの倶楽部を設立するに至る経緯とともにお話いたします。

### <講師>

**松田 雅彦氏**

大阪教育大学附属高等学校平野校舎 主幹教諭

### <助言者>

**小久保 智史氏**

スポーツ庁 地域スポーツ課 課長補佐

### <次第>

1. 分科会進行説明（司会より）
2. 講師・助言者紹介
3. 講演
4. 事例紹介
5. 質疑応答
6. ディスカッション
7. 総括

# 分科会 2

センチュリールーム 16:30～18:00

〔司会〕 副会長 谷田部 秀男

テーマ

## 「感染症から未来を守る」 ～コロナだけではない感染症の話～

新型コロナウイルス感染症の流行は私たちの生活を大きく変えました。感染症の流行が健康被害だけでなく、社会全体に大きな影響を与えることをこのパンデミックを通じて実感した方も多いと思います。

新型コロナウイルス以外にも重要な感染症は多くあります。正しい知識や対処方法を知っていれば感染するリスクや、感染しても重症になるリスクを下げることができます。なかでもワクチンは感染症予防のもっとも強力な手段です。

今回は新型コロナウイルスに加え、ぜひ知っていただきたい感染症のトピックについてお話しします。感染症のリスクをどのように下げていくのか、そして感染症から未来を守るにはどうすればよいのか、一緒に考える機会になれば幸いです。

### <講師>

**具 芳明氏**  
東京医科歯科大学 教授

### <パネリスト>

**具 芳明氏**  
東京医科歯科大学 教授

**神谷 元氏**  
国立感染症研究所 感染症疫学センター 予防接種総括研究官

**大嶋 和彦氏**  
香川大学教育学部附属高松小学校 副校長

### <次第>

1. 分科会進行説明（司会より）
2. 講師紹介
3. 講演
4. ディスカッション 質疑応答

# 分科会 3・幼稚園部会

白鳳 16:30～18:00

[司会] 幼稚園特別支援副委員長 田城 敏史

テーマ

## 「附属幼稚園で味わう子育ての楽しみ」 ～かしこさと非認知能力の育成の秘密～

附属幼稚園で長きにわたり幼児教育に携わり、子どもたち・保護者・教職員からも絶大な信頼を受けてきた佐々木教授。

我が国の幼児教育実践研究を牽引している全国の附属幼稚園は、和衷協同して毎年、文部科学省の委託を受けて先進的研究を進めてきました。数々の研究の中から、今回は今話題の「非認知能力」の育成を中心に、わが子とのかかわり方や、健やかな成長のために保護者が理解すべきことなどを楽しいエピソードを交えながらお話いただきます。

### <講師>

**佐々木 晃氏**

鳴門教育大学教職大学院 幼児教育コース 教授（鳴門教育大学附属幼稚園 前園長）

### <報告者>

**釜井 秀文氏**

宇都宮大学共同教育学部附属中学校 P T A 会長

### <助言者>

**横山 真貴子氏**

文部科学省 初等中等教育局 幼児教育課 幼児教育調査官

### <次第>

1. 分科会進行説明（司会より）
2. 報告者報告
3. 講演
4. 質疑応答
5. 助言者講評
6. まとめ

# 分科会 4 ・ 特別支援部会

飛鳥 16:30～18:00

[司会] 顧問 増田 梓

テーマ

## 「みんなの放課後に音楽を！」 ～元PTA会長が広げる余暇の楽しみと笑顔～

小学部から高等部まで学齢が幅広く、お子さまの個性もさまざまな特別支援学校・学級の保護者にとって悩みはそれぞれありますが「放課後（余暇）の過ごし方」もそのひとつです。

児玉氏は音楽を通じた成長（療育）に特化した放課後等デイサービスを自ら立ち上げ運営することを通じて「誰もが暮らしやすい地域」づくりに邁進しておられます。12年を超える活動の中で、障がい特性の緩和を目指した音楽療育プログラムを開発、山形県内外の障がい児の指導にあたっています。現在は、放課後等デイサービスでの障がい児の音楽指導に加え、音楽教育関係者のセミナー、支援学校等での授業、学校の先生方の研修などを行っています。また、今年度は科学技術研究費の採択（筆頭研究者：山形大学佐川教授）を受け、学校現場で使える評価指標と音楽教育プログラムの開発を4年に渡り行う予定です。

ご自身も附属特別支援学校の元PTA会長でおられたお話も交えたご講演で、わが子との関わりにプラスになるパワーを山形から届けていただきます。

### <講師>

#### 児玉 千賀子氏

認定特定非営利法人 アジェンダやまがた 代表理事

### <助言者>

#### 菅野 和彦氏

文部科学省 初等中等教育局 視学官

### <次第>

1. 分科会進行説明（司会より）
2. 講演
3. 質疑応答
4. 助言者講評
5. まとめ

# 2 目 基調講演

センチュリールーム・クリスタルルーム 9:00～10:00

〔司会〕 広報委員長 二村 美里

## テーマ 「生きる力を育てる学力」

### 齋藤 孝氏

明治大学文学部 教授



#### ■講師プロフィール

1960年、静岡県静岡市生まれ。東京大学法学部卒業。東京大学大学院教育学研究科博士課程等を経て現職。専門は教育学、身体論、コミュニケーション論。『身体感覚を取り戻す』（NHKブックス）で新潮学芸賞受賞。2001年に出した『声に出して読みたい日本語』（草思社、毎日出版文化賞特別賞受賞）が、シリーズ260万部のベストセラーになり、日本語ブームをつくった。著書累計出版部数は、1000万部を超える。

現在、文部科学省「幼児教育と小学校教育の架け橋特別委員会」委員。

#### ■著書

『読書力』（入試出題率1位）『コミュニケーション力』『新しい学力』（岩波新書）  
『現代語訳 学問のすすめ』『現代語訳 論語』『質問力』『段取り力』（筑摩書店）  
『理想の国語教科書』（文藝春秋）、『雑談力が上がる話し方』（ダイヤモンド社）  
『齋藤孝のイッキに読める！名作選』（講談社）  
『小学生なら知っておきたい教養366』（小学館）  
『齋藤孝の小学国語教科書』（致知出版社） 等多数。

#### ■テレビ出演

NHK Eテレ「にほんごであそぼ」総合指揮  
NHK総合「あさイチ」「シブ5時」「ニュースウォッチ9」「週刊丸わかりニュース」  
日本テレビ系「世界一受けたい授業」  
フジテレビ系「全力！脱力タイムズ」「Live News イット！」  
TBSテレビ系「情報7daysニュースキャスター」「東大王」「あさチャン！」MC  
等多数。

# 省庁行政説明及び全附P連活動報告

---

センチュリールーム・クリスタルルーム 10:00～10:55

[司会] 広報委員長 二村 美里

## 省庁行政説明

---

●文部科学省

小畑 康生氏

文部科学省 総合教育政策局 教育人材政策課 教員養成企画室長

●財務省

尾崎 淳氏

財務省 大臣官房地方課 広報連絡係 課長補佐

●金融庁

亀本 雅史氏

金融庁 総合政策局 総合政策課 総合政策管理官

## 全附P連活動報告

---

●全附P連の活動について

高地 たか子 専務理事

●総務委員会

宮本 昌尚 総務委員長

●財務委員会

森川 誠 財務委員長

●広報委員会

二村 美里 広報委員長

●研修委員会

山口 泰一 研修委員長

●幼稚園特別支援委員会

西村 寧 幼稚園特別支援委員長

## カンガルー保険の紹介

---

# パネルディスカッション

センチュリールーム・クリスタルルーム 11:15～12:35

テーマ

「SDGsから考える ～附属のこれまでとこれから～」

## <発表校>

**小林 一博氏**

北海道教育大学附属釧路義務教育学校後期課程 副校長

「自分事として自らの意識を高める持続可能なSDGs活動への取り組み」

**藤田 和昌氏**

兵庫教育大学附属小学校 前PTA会長

文化部セミナー教育講演会「性の多様性について」

## <パネリスト>

**小畑 康生氏**

文部科学省 総合教育政策局 教育人材政策課 教員養成企画室長

**荒川 真一氏**

大阪教育大学附属池田小学校 副校長

**小林 一博氏**

北海道教育大学附属釧路義務教育学校後期課程 副校長

**藤田 和昌氏**

兵庫教育大学附属小学校 前PTA会長

**大竹 昌士**

(一社) 全国国立大学附属学校PTA連合会 会長

## <コーディネーター>

**高地 たか子**

(一社) 全国国立大学附属学校PTA連合会 専務理事

## あいサポート運動

---

ハンディキャップのあることは特別なことではなくひとつの個性です。

また、誰もが当事者となる可能性があります。

しかし、ハンディキャップのある方への社会の配慮は十分に行き届いているとはまだまだ言えません。

「あいサポート運動」は平成21年11月に鳥取県で創設された運動で、多様なハンディキャップのある方が普段の生活において困っていることを知り、必要な配慮などを理解したうえでちょっとした手助けを実践する「あいサポーター」として行動することによって誰もが暮らしやすい地域を作ることを目的としています。

本運動を通じて、地域共生社会を皆で一緒に創っていきましょう。

「あいサポーター研修」のお申込みは各学校園にお送りしていますので詳しくはご担当の先生にお尋ねください。

<http://aisupporter.jp>



## 絵画コンクール 2022 作品スライドショー

---

全附P連絵画コンクールは、今年で18回目を迎えます。

全国の附属学校園に学ぶ約8万5千人の仲間のつながりを活かし、ともに絵画制作に取り組みながら、それぞれが感動を得ることを通して、相互理解の向上を目的に継続してまいりました。

今回は、九州地区福岡教育大学附属小倉小学校・中学校を主管校として開催致します。北九州の方言を用いた「好きっちゃ ～私の大切なもの～」をテーマに、コロナ禍において不自由な生活を強いられるなか、子どもたちが大好きなこと、ずっと大切にしていきたいものを1枚の絵に表現してもらいました。

全国から2074点のご応募をいただき、ただ今、福岡教育大学の将来先生を目指す学生たちによっての一次審査の真っ最中です！

本大会では、ご応募いただいた作品の一部を、ご紹介させていただきます！



# 販売ブースのご案内

大会期間中、特別支援学校の生徒が校内でつくったお菓子のほか、卒業生が活躍する福祉事業所の製品を販売します。ぜひ、全国大会のおみやげとしてご利用ください。

## hocco sweets

菓子製品

「hocco sweets」は高知大学教育学部附属特別支援学校の校内にオープンするお菓子屋さんで心のこもったハイクオリティなお菓子は地域の方々に愛されています。



## 工房わかぎり

レザークラフト製品

（「工房わかぎり」は筑波大学附属大塚特別支援学校の親の会を母体にした作業所）



# 特別支援の生徒が心を込めて作りました

記念品としてお渡ししたのは全国の附属特別支援学校の生徒が製作した作業製品です。  
ご家庭や学校でご活用いただき関心をお寄せください。

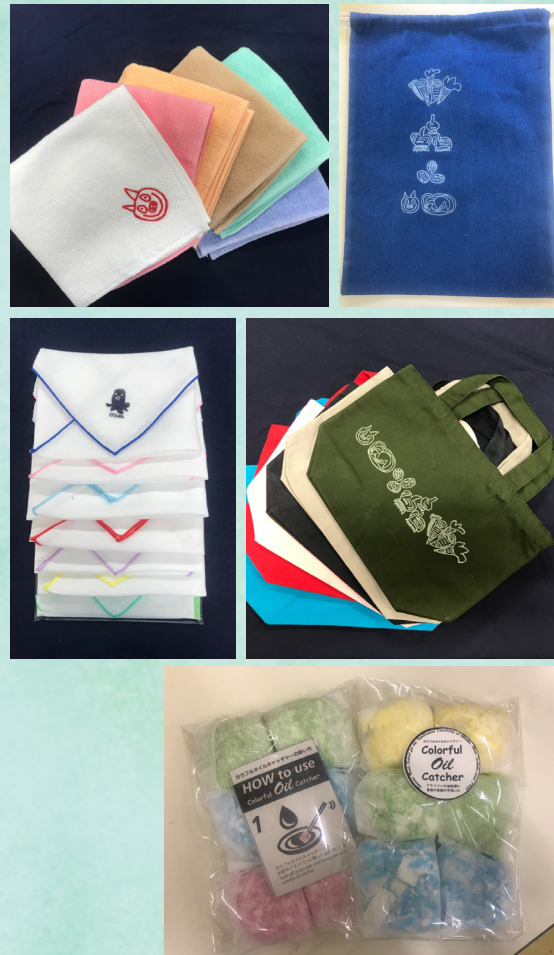
## 北海道教育大学附属特別支援学校



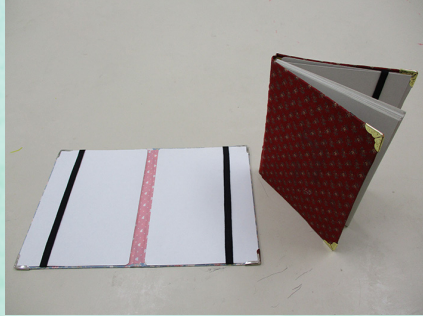
筑波大学附属大塚特別支援学校



## 岩手大学教育学部附属特別支援学校



群馬大学共同教育学部附属特別支援学校



富山大学教育学部附属特別支援学校

山梨大学教育学部附属特別支援学校



福井大学教育学部附属特別支援学校



滋賀大学教育学部附属特別支援学校



山口大学教育学部附属  
特別支援学校



岡山大学教育学部附属特別支援学校



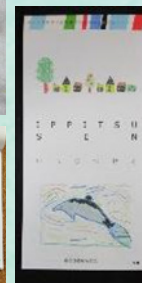
香川大学教育学部附属  
特別支援学校



愛媛大学教育学部附属特別支援学校



高知大学教育学部附属  
特別支援学校



熊本大学教育学部  
附属特別支援学校



今回お渡しした製品はコロナ禍により  
開催が叶わなかった 2020 年度の大会  
に向けて募ったものになります。

# 大会記念品 制作協力校一覧

## 北海道教育大学附属特別支援学校

スマホスタンド／木製スタンド／箸置き／コースター

## 岩手大学教育学部附属特別支援学校

ラベンダー瓶ポップリ／ラベンダーポップリ／「あにーわ」のマグネット／針刺し（タイルなし）  
／針刺し（タイル有）／手織りコースター

## 群馬大学共同教育学部附属特別支援学校

ハーバリウム／メモ帳（カバー付き）／コースター

## 筑波大学附属大塚特別支援学校

オイルキャッチャー／厚手フェイスタオル／薄手フェイスタオル  
ガーゼハンカチ／巾着／ハンカチタオル

## 富山大学教育学部附属特別支援学校

小物入れ／くるみボタンクリップ／フラワークリップ／デコパージュマグネット／マスクケース

## 福井大学教育学部附属特別支援学校

一筆箋と封筒セット

## 山梨大学教育学部附属特別支援学校

ポチ袋（10枚入り）／コースター（3枚セット）

## 滋賀大学教育学部附属特別支援学校

小皿／コースター／ビーズアクセサリー

## 岡山大学教育学部附属特別支援学校

備前焼茶碗／桃の爪楊枝差し／タオルホルダー／ピンクッション／ティッシュケース／ブローチ

## 山口大学教育学部附属特別支援学校

ガーゼハンカチ

## 香川大学教育学部附属特別支援学校

ビーズストラップ

## 愛媛大学教育学部附属特別支援学校

伊予かすりくるみボタン（ゴム留め）／めだかの学校（キーホルダー）  
伊予かすりメモ帳／えみかの缶バッジマグネット

## 高知大学教育学部附属特別支援学校

割りばし／メモ帳（ミシン目入り）／竹板箸置き／竹板コースター

## 熊本大学教育学部附属特別支援学校

ほのぼのキーホルダー／いっぴつせん／フェルトストラップ

# 学校園・参加者数

2022.9.26 現在 161 校園 472 名

No	学校名	保護者	教員	後援会	各校小計
1	北海道教育大学附属札幌小学校	2	3	0	5
2	北海道教育大学附属札幌中学校	4	2	2	8
3	北海道教育大学附属特別支援学校	3	1	0	4
4	北海道教育大学附属旭川幼稚園	1	0	0	1
5	北海道教育大学附属旭川小学校	4	1	0	5
6	北海道教育大学附属旭川中学校	4	0	0	4
7	北海道教育大学附属釧路義務教育学校前期課程	2	0	0	2
8	北海道教育大学附属釧路義務教育学校後期課程	1	1	0	2
9	弘前大学教育学部附属小学校	2	1	1	4
10	弘前大学教育学部附属中学校	2	1	0	3
11	弘前大学教育学部附属特別支援学校	1	1	0	2
12	岩手大学教育学部附属幼稚園	2	0	0	2
13	岩手大学教育学部附属小学校	3	2	0	5
14	岩手大学教育学部附属中学校	4	1	1	6
15	岩手大学教育学部附属特別支援学校	1	0	0	1
16	秋田大学教育文化学部附属小学校	0	0	1	1
17	秋田大学教育文化学部附属中学校	1	1	0	2
18	宮城教育大学附属幼稚園	1	0	0	1
19	宮城教育大学附属小学校	4	0	2	6
20	宮城教育大学附属中学校	2	0	1	3
21	宮城教育大学附属特別支援学校	1	0	0	1
22	山形大学附属特別支援学校	1	0	0	1
23	福島大学附属小学校	4	0	0	4
24	福島大学附属中学校	0	0	1	1
25	福島大学附属特別支援学校	1	0	0	1
26	茨城大学教育学部附属幼稚園	1	0	0	1
27	茨城大学教育学部附属小学校	3	0	0	3
28	茨城大学教育学部附属中学校	1	1	0	2
29	宇都宮大学共同教育学部附属幼稚園	0	1	0	1
30	宇都宮大学共同教育学部附属小学校	1	0	1	2
31	宇都宮大学共同教育学部附属中学校	4	0	0	4
32	宇都宮大学共同教育学部附属特別支援学校	2	0	0	2
33	群馬大学共同教育学部附属幼稚園	3	0	0	3
34	群馬大学共同教育学部附属小学校	9	0	0	9
35	群馬大学共同教育学部附属中学校	6	0	0	6
36	埼玉大学教育学部附属幼稚園	1	0	0	1
37	埼玉大学教育学部附属小学校	2	0	1	3
38	埼玉大学教育学部附属中学校	3	2	0	5
39	埼玉大学教育学部附属特別支援学校	1	1	0	2
40	千葉大学教育学部附属小学校	2	0	0	2
41	千葉大学教育学部附属中学校	2	1	0	3

No	学校名	保護者	教員	後援会	各校小計
42	千葉大学教育学部附属特別支援学校	2	0	0	2
43	筑波大学附属小学校	3	0	1	4
44	筑波大学附属中学校	11	1	2	14
45	筑波大学附属駒場高等学校	2	0	0	2
46	筑波大学附属大塚特別支援学校	1	1	0	2
47	お茶の水女子大学附属幼稚園	8	0	0	8
48	お茶の水女子大学附属小学校	4	0	0	4
49	お茶の水女子大学附属中学校	1	0	1	2
50	お茶の水女子大学附属高等学校	7	0	0	7
51	東京学芸大学附属小金井小学校	6	0	0	6
52	東京学芸大学附属小金井中学校	0	0	1	1
53	東京学芸大学附属大泉小学校	1	0	0	1
54	東京学芸大学附属竹早小学校	1	0	0	1
55	東京学芸大学附属国際中等教育学校（前期）	4	1	0	5
56	東京学芸大学附属高等学校	2	0	0	2
57	東京学芸大学附属特別支援学校	2	0	0	2
58	東京大学教育学部附属中等教育学校（後期）	3	0	0	3
59	東京藝術大学音楽学部附属音楽高等学校	1	0	0	1
60	東京工業大学附属科学技術高等学校	1	0	0	1
61	横浜国立大学教育学部附属鎌倉中学校	8	0	0	8
62	横浜国立大学教育学部附属横浜小学校	2	0	0	2
63	横浜国立大学教育学部附属横浜中学校	6	0	0	6
64	山梨大学教育学部附属小学校	3	0	0	3
65	山梨大学教育学部附属中学校	1	0	0	1
66	新潟大学附属新潟小学校	2	0	0	2
67	新潟大学附属新潟中学校	2	0	0	2
68	新潟大学附属長岡小学校	1	0	0	1
69	上越教育大学附属小学校	2	0	0	2
70	上越教育大学附属中学校	1	0	0	1
71	富山大学教育学部附属小学校	3	0	0	3
72	富山大学教育学部附属中学校	1	0	1	2
73	金沢大学人間社会学域学校教育学類附属幼稚園	3	1	0	4
74	金沢大学人間社会学域学校教育学類附属小学校	1	0	0	1
75	金沢大学人間社会学域学校教育学類附属中学校	2	1	0	3
76	金沢大学人間社会学域学校教育学類附属高等学校	1	1	0	2
77	金沢大学人間社会学域学校教育学類附属特別支援学校	2	0	0	2
78	福井大学教育学部附属義務教育学校（前期）	1	0	1	2
79	信州大学教育学部附属幼稚園	1	0	0	1
80	信州大学教育学部附属長野小学校	1	0	0	1
81	信州大学教育学部附属長野中学校	2	0	0	2
82	信州大学教育学部附属松本小学校	1	0	0	1
83	岐阜大学教育学部附属小中学校	11	1	0	12
84	静岡大学教育学部附属幼稚園	1	0	0	1

No	学校名	保護者	教員	後援会	各校小計
85	静岡大学教育学部附属静岡中学校	1	0	0	1
86	静岡大学教育学部附属浜松小学校	5	1	2	8
87	静岡大学教育学部附属浜松中学校	5	1	0	6
88	静岡大学教育学部附属島田中学校	1	0	1	2
89	愛知教育大学附属名古屋小学校	2	0	0	2
90	愛知教育大学附属岡崎小学校	4	0	1	5
91	愛知教育大学附属岡崎中学校	5	0	0	5
92	名古屋大学教育学部附属高等学校	2	1	0	3
93	三重大学教育学部附属小学校	2	1	0	3
94	三重大学教育学部附属中学校	2	0	0	2
95	滋賀大学教育学部附属幼稚園	1	0	0	1
96	滋賀大学教育学部附属小学校	0	1	0	1
97	京都教育大学附属京都小中学校（中高等部）	3	1	0	4
98	京都教育大学附属桃山小学校	2	0	0	2
99	京都教育大学附属桃山中学校	1	0	0	1
100	京都教育大学附属高等学校	1	0	0	1
101	大阪教育大学附属池田小学校	1	1	0	2
102	大阪教育大学附属高等学校天王寺校舎	1	0	0	1
103	神戸大学附属幼稚園	1	1	0	2
104	神戸大学附属中等教育学校（前期）	1	0	0	1
105	神戸大学附属特別支援学校	0	1	0	1
106	兵庫教育大学附属小学校	3	0	0	3
107	奈良女子大学附属幼稚園	1	0	0	1
108	奈良女子大学附属小学校	2	0	0	2
109	奈良女子大学附属中等教育学校（後期）	1	1	0	2
110	奈良教育大学附属中学校	1	0	0	1
111	和歌山大学教育学部附属中学校	1	1	1	3
112	鳥取大学附属小学校	3	0	0	3
113	鳥取大学附属中学校	2	0	0	2
114	島根大学教育学部附属幼稚園	2	1	0	3
115	島根大学教育学部附属義務教育学校前期課程	1	0	0	1
116	島根大学教育学部附属義務教育学校後期課程	1	1	0	2
117	岡山大学教育学部附属幼稚園	3	1	0	4
118	岡山大学教育学部附属小学校	2	2	0	4
119	岡山大学教育学部附属中学校	5	1	0	6
120	岡山大学教育学部附属特別支援学校	1	1	0	2
121	広島大学附属小学校	1	1	1	3
122	広島大学附属高等学校	1	0	0	1
123	広島大学附属東雲小学校	3	2	0	5
124	広島大学附属東雲中学校	2	1	2	5
125	広島大学附属三原小学校	1	0	0	1
126	広島大学附属三原中学校	2	0	0	2
127	広島大学附属福山高等学校	1	2	1	4



No	学校名	保護者	教員	後援会	各校小計
128	山口大学教育学部附属山口小学校	1	1	1	3
129	山口大学教育学部附属山口中学校	3	0	0	3
130	山口大学教育学部附属光中学校	2	0	0	2
131	鳴門教育大学附属小学校	3	0	0	3
132	鳴門教育大学附属中学校	2	2	0	4
133	鳴門教育大学附属特別支援学校	1	1	0	2
134	香川大学教育学部附属幼稚園	2	0	0	2
135	香川大学教育学部附属高松小学校	4	2	1	7
136	香川大学教育学部附属高松中学校	1	1	0	2
137	香川大学教育学部附属坂出小学校	2	0	0	2
138	香川大学教育学部附属坂出中学校	2	0	0	2
139	愛媛大学教育学部附属幼稚園	0	1	0	1
140	愛媛大学教育学部附属小学校	1	1	0	2
141	愛媛大学教育学部附属中学校	2	0	0	2
142	高知大学教育学部附属幼稚園	0	1	0	1
143	高知大学教育学部附属小学校	2	1	0	3
144	高知大学教育学部附属中学校	2	1	0	3
145	高知大学教育学部附属特別支援学校	0	1	0	1
146	福岡教育大学附属福岡小学校	2	2	0	4
147	福岡教育大学附属福岡中学校	3	1	0	4
148	福岡教育大学附属小倉小学校	2	0	0	2
149	福岡教育大学附属小倉中学校	1	1	1	3
150	福岡教育大学附属久留米小学校	1	0	0	1
151	佐賀大学教育学部附属小学校	2	0	0	2
152	佐賀大学教育学部附属中学校	2	0	0	2
153	長崎大学教育学部附属中学校	2	1	1	4
154	大分大学教育学部附属特別支援学校	1	0	0	1
155	宮崎大学教育学部附属小学校	4	0	0	4
156	宮崎大学教育学部附属中学校	5	1	0	6
157	鹿児島大学教育学部附属幼稚園	3	0	0	3
158	鹿児島大学教育学部附属小学校	2	1	2	5
159	鹿児島大学教育学部附属中学校	3	2	0	5
160	琉球大学教育学部附属小学校	1	0	0	1
161	琉球大学教育学部附属中学校	8	0	1	9
		364	74	34	472

# お礼の言葉

## 萩原 清明

一般社団法人全国国立大学附属学校PTA連合会  
副会長・全国大会実行委員長



この度は、たくさんのご支援とご協力により、一般社団法人全国国立大学附属学校PTA連合会（全附P連）PTA研修会第13回全国大会を盛大に挙行することができました。また、本法人は、創立70周年を迎え、創立70周年記念式典も同時に開催することができました。ご来賓をはじめ、ご来場いただきました皆様、企画運営スタッフ、そして本大会に関わった全ての方々に、心より厚くお礼を申し上げます。

新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、様々な制限の中ではございましたが、3年ぶりの集合型での開催、皆様と会場でお会いできましたこと、関係者一同大変うれしく思っております。

今大会の開催スローガン「子どもたちとこの国の未来のために」～附属がこれまでやってきたこと、これからやっていくこと～ 附属を取り巻く現状や現在の学校教育の中でのトピックとなる

テーマで、皆様と学びあえるプログラムを企画し、また、著名な講師をお招きして、SDGsの入門知識や子育てを考える講演なども開催いたしました。

ICT教育課題、家庭問題、地域との連携など、様々な課題があると思いますが、この全国大会を通じて、多くの方々と繋がり、本大会のプログラムが参加者皆様、各学校園やPTAにとって本大会のプログラムが何か1つでも、お力になれば幸いです。

プログラムの一部はオンデマンド配信を予定しております。

是非、ご視聴いただきますようよろしくお願い申し上げます。

最後になりますが、ご参加いただいた皆様、多くの関係者の皆様に心より感謝申し上げ、お礼の言葉とさせていただきます。

# 終わりの言葉

## 山口 泰一

一般社団法人全国国立大学附属学校PTA連合会  
研修委員長・全国大会副実行委員長



3年ぶりに集合型でも開催された第13回全国国立大学附属学校PTA連合会PTA研修会はいかがだったでしょうか？何かひとつでもこれからの附属校園のために、子どもたちのために、得るものを見つけてくださったらうれしく思います。

今年は、一昨年と昨年のオンライン開催を踏まえ、集合型に加えてオンラインのライブ開催も実施いたしました。また、今回の大会の様子を少しでも見ていただけるよう後日の配信もいたします。コロナ禍で、これまでのように集合型だけできないもどかしさがありますが、その分、実際に足を運べない方たちにも見ていただけるオンラインを活用し、今まで以上に会員の皆さまに情報をお届けする機会が増えているのではないかと考えております。

今回のテーマは「子どもたちとこの国の未来のために ~附属がこれまでやってきたこと、これからやっていくこと~」でありました。附属校園のこれまでを振り返ることにより、全国の附属

校園関係者がさまざまな有益な情報を共有しこれからの附属校園の存在意義、必要性を一緒に考える機会は、皆さまにとって非常に有意義なものであったのではないのでしょうか。新型コロナウイルスにより、学校での子どもたちの活動の在り方、保護者のかかわりにもこれまでとは違った取り組みが必要になっております。各附属校園がその中でさまざまな工夫をこらして子どもたちのために実施していることがたくさんございます。それらの情報を共有し、これからの附属校園のために生かしていけることは附属校園の強みであります。

全国大会ではこれからも、学校での問題、家庭での問題、地域での問題、様々な悩みの解決の糸口に一つでもつながるよう、運営し、邁進してまいりたいと考えます。

最後になりましたが、ご参加いただきました皆さま、並びに大会の企画・運営にご尽力いただきました関係者の皆さまに心より深く感謝申し上げます。

# 大会実行委員

会長	茨城大学教育学部附属小学校	大竹昌士
直前会長	元香川大学教育学部附属坂出幼小中学校	神余智夫
実行委員長 (副会長)	奈良女子大学附属中等教育学校	萩原清明
副実行委員長 (研修委員長)	お茶の水女子大学附属小学校	山口泰一
副会長	岩手大学教育学部附属中学校	田口智之
	香川大学教育学部附属高松小学校	谷田部秀男
	福島大学附属特別支援学校	齋藤 伸
専務理事	千葉大学教育学部附属中学校	高地たか子
理事	香川大学教育学部附属坂出学園	宮本昌尚
	弘前大学教育学部附属小学校	後藤友樹
	新潟大学附属新潟小学校	白勢啓仁
	奈良女子大学附属中等教育学校	森川 誠
	愛媛大学教育学部附属中学校	櫻木周一
	静岡大学教育学部附属浜松中学校	二村美里
	福岡教育大学附属小倉中学校	仁木陽介
	北海道教育大学附属釧路義務教育学校後期課程	松井聖治
	埼玉大学教育学部附属小学校	真壁雄一
	三重大学教育学部附属小学校	世古丈人
	滋賀大学教育学部附属小学校	西村 寧
	島根大学教育学部附属義務教育学校前期課程	田城敏史
	監事	元大阪教育大学附属高等学校平野校舎
岡山大学教育学部附属中学校		大倉宏治
顧問	元鹿児島大学教育学部附属中学校	井上恒治
	三重大学教育学部附属小学校	桑名良尚
	元神戸大学附属特別支援学校	増田 梓
	元香川大学教育学部附属高松中学校	小出克元
評議員	京都教育大学附属桃山中学校	小林哲也
	大阪教育大学附属高等学校天王寺校舎	井上 周
専門委員	東京学芸大学附属国際中等教育学校	三輪慶一郎
	元筑波大学附属大塚特別支援学校	江口浩代
	元東京学芸大学附属特別支援学校	岡部太郎
	元富山大学人間発達科学部附属中学校	平岡昌純
	元和歌山大学教育学部附属中学校	竹川裕之

準備員	元東京学芸大学附属高等学校	石塚由紀子
	東京学芸大学附属国際中等教育学校	前田るり
	お茶の水女子大学附属高等学校	越川有希
協力員	元筑波大学附属高等学校	岡島絵美子
	元東京学芸大学附属高等学校	東 悦子
	元東京学芸大学附属高等学校	山崎澄江
	元お茶の水女子大学附属小学校	杉山真弓
	元東京学芸大学附属小金井小学校	末廣彰子
	横浜国立大学教育学部附属横浜小学校	竹下英明
	埼玉大学教育学部附属小学校	大崎郁乃
	埼玉大学教育学部附属小学校	新井寛子
	埼玉大学教育学部附属小学校	古谷 彩
	埼玉大学教育学部附属小学校	福地まゆみ
事務局	事務局長	田中一晃
	事務主事	美野未来

<協力>

編集・デザイン	株式会社文成社	内藤寿美子
登録・システム	株式会社オールア라운드	長谷川浩二
撮影・配信	株式会社アクエルド	内藤 明

## ご案内

- 会場では、万全の感染対策を講じさせていただきます。ご参加の皆様におかれましては、様々な制約やご協力をいただくことになってと思いますが、ご理解いただきますよう、よろしく願いいたします。
- 本大会は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、全プログラム座席指定とさせていただきます。座席は弊会で指定させていただきます。座席の移動（学校園の中でも不可）、分科会間の移動も不可とさせていただきます。
- 会場内では、常にマスクをご着用願います。また、必要以外の会話はお控えください。
- 会場内で体調不良が疑われる方については、別室に移動・待機いただく場合がございますので、あらかじめご了承ください。
- 大きなお荷物は、ホテルの地下1階エスカレーター横のクロークにお預けいただけます。
- 主催者では、盗難・紛失等の責任を負いかねますので、貴重品とお手回りの管理には十分ご注意ください。
- 携帯電話は、電源をお切り頂くか、マナーモードに設定のうえ、通話をご遠慮ください。
- 各講演の聴講に際し、許可のない撮影・録音は固くお断りいたします。
- 会場内は禁煙となっております。地下1階の喫煙コーナーをご利用いただけます。
- 会場内での飲食は禁止となっております。ただし、ペットボトルや水筒での飲み物は可能とします。
- 販売品のお菓子類はお土産のため、会場内でのお召し上がりはご遠慮願います。
- アンケートのご協力をお願いいたします。ご回答いただきました内容につきましては、今後の活動に役立ててまいりますので、是非ご理解とご協力をいただきますようお願いいたします。

## 次回全国大会

全附P連PTA研修会 第14回全国大会 開催予定  
日時：2023年9月29日（金）～30日（土）

(一社) 全国国立大学附属学校PTA連合会 PTA研修会 第13回全国大会

## 大会要項

令和4年9月30日～10月1日

発行者 (一社) 全国国立大学附属学校PTA連合会

発行所 全附連事務局

〒105-0001  
東京都港区虎ノ門1-2-29  
虎ノ門産業ビル 8F  
TEL.03-3591-2091 FAX.03-3591-2092  
E-mail jimukyoku@zenfuren.org  
HP <http://www.zenfuren.org/>

## 各アンケート

集合型参加者

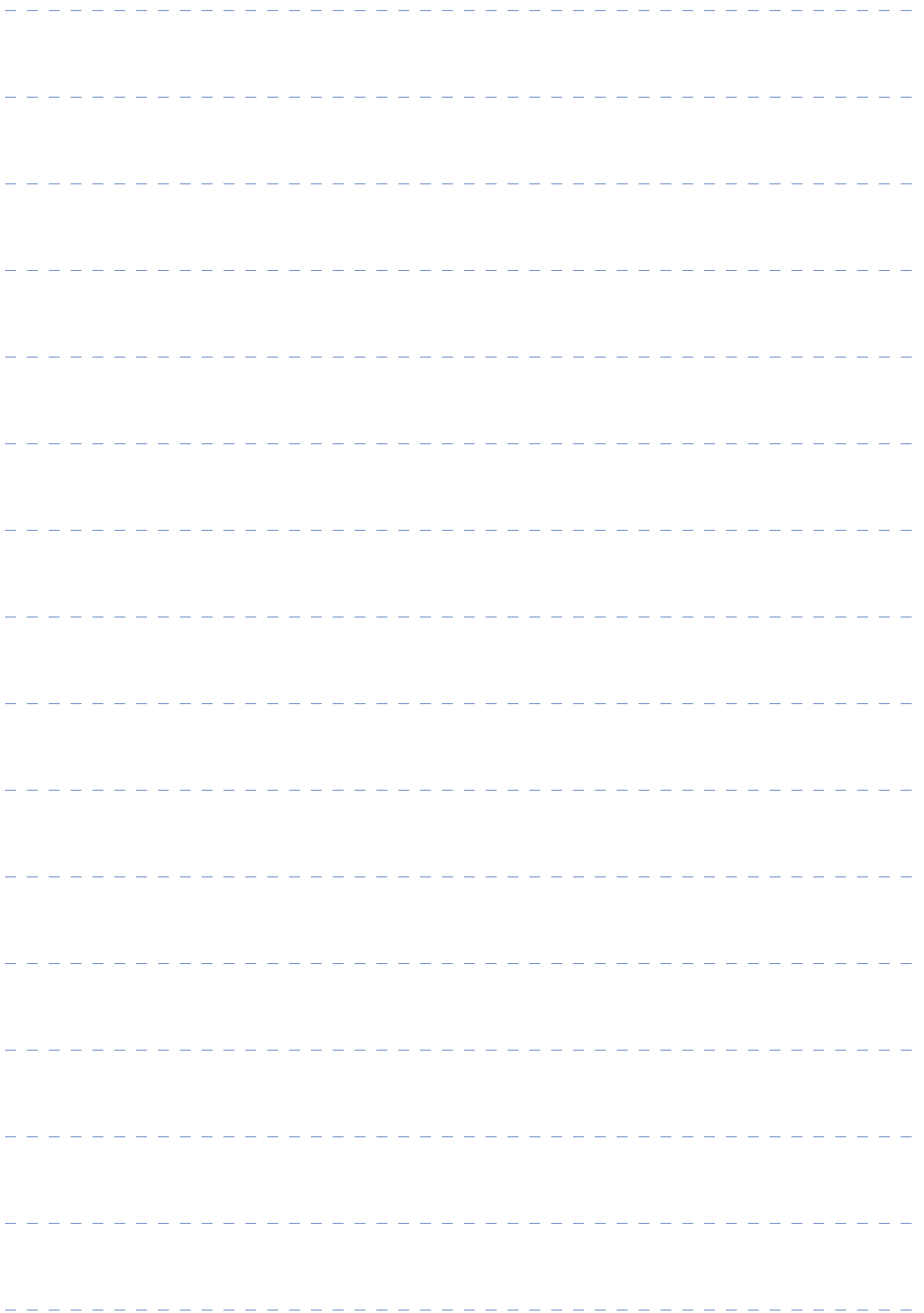


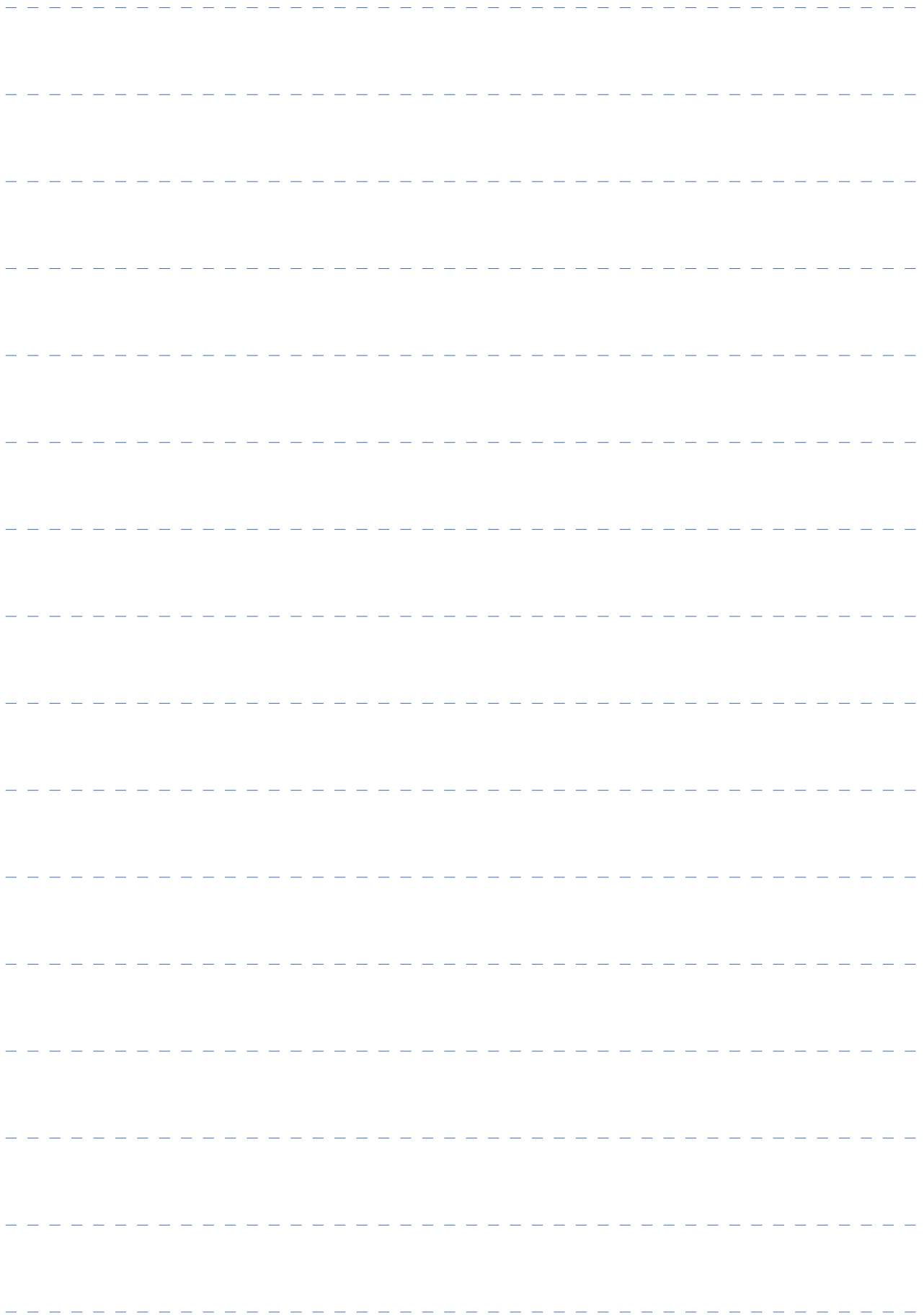
LIVE 配信参加者



後日配信版  
オンライン参加者





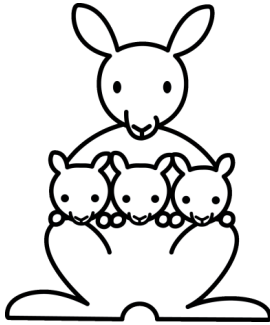


2022年度

## カンガルー保険（全員加入制度）

※個人での加入はできません。

保険期間：2022年6月1日午後4時から2023年6月1日午後4時まで



園児・児童・生徒、教職員の皆さまのケガなどを補償する

### <1>園児・児童・生徒・教職員 総合補償制度

（学校契約団体傷害保険、賠償責任保険PTA特約）

園児・児童・生徒、教職員の皆さまを犯罪事故からお守りする

### <2>犯罪被害事故 見舞補償制度

（傷害総合保険）

PTA活動に参加中のご両親・教職員のさまのケガや賠償事故を補償する

### <3>PTA活動総合補償制度

（普通傷害保険PTA団体傷害特約、賠償責任保険PTA管理者特約、生産物特約）

※「カンガルー保険（全員加入制度）」は全国国立大学附属学校PTA連合会を保険契約者、損害保険ジャパン株式会社を引受保険会社とし、学校契約団体傷害保険、傷害総合保険、PTA団体傷害保険、賠償責任保険（PTA特約、PTA管理者特約、生産物特約）をそれぞれ組み合わせて加入する補償制度のペットネームです。

カンガルー保険（全員加入制度）は、以下の取扱代理店にお問い合わせください。

※この広告は概要を説明したものととなります。詳細はパンフレットをご覧ください。取扱代理店または損保ジャパンまでお問い合わせください。

<お問い合わせ先（資料請求はこちらへ）>

【取扱代理店】（北海道・東北・関東・北信越・四国地区）株式会社 第一成和事務所 東京都中央区日本橋久松町11-6 日本橋TSビル8階

TEL：0120-100-492・03-3669-2831 FAX：03-3667-9037

受付時間：平日の9：00～17：30（土日、祝日、12/29～1/4を除きます。）

（東海・近畿・中国・九州地区）

海上商事株式会社 東京都渋谷区代々木2-11-15 新宿東京海上日動ビルディング

TEL：0120-745-748 FAX：03-3320-4877

受付時間：平日の9：30～17：30（土日、祝日を除きます。）

【引受保険会社】損害保険ジャパン株式会社 団体・公務開発部 第三課 〒160-8338 東京都新宿区西新宿1-2-6-1 TEL:03-3349-5408 FAX:03-6388-0162

SJ22-02129 2022年5月30日

## 全国国立大学附属学校園の幼児・児童・生徒の保護者の皆様へ

24時間補償

☆2022年度☆  
☆中途加入受付中☆

# カンガルー保険のご案内

（団体総合生活保険）

（任意加入制度）



この保険は全国国立大学附属学校PTA連合会の団体保険です。

### 約50%割引

全国国立大学附属学校PTA連合会  
が窓口の団体契約なので、  
保険料が約50%割安です。  
・団体割引：30% ・損害率による割引：25%  
・大口団体契約割引：10% 適用

### 24時間補償

お子様を取り巻く様々なリスクに  
対応した安心のための  
24時間補償制度です。

### 簡単・便利！

・保険料のお支払は、  
便利な「口座振替方式」  
・更新のお手続きは、  
便利な「自動更新」です。

保険期間	2022年4月1日午後4時から2023年4月1日午後4時まで1年間 ※随時ご加入いただけます。（お申込日にかかわらず、補償は2023年4月1日午後4時に終了します。） ※ご加入ご希望の方は、取扱代理店までお問い合わせください。
加入対象者	①全国国立大学附属学校園に在籍の幼児・児童・生徒 ②本制度にご加入いただいた上記①の兄弟で、公・私立の幼稚園・小学校・中学校・高等学校・特別支援学校に通われている幼児・児童・生徒 （ご加入時に満3歳以上から満18歳以下の方に限ります。）
加入手続き	パンフレット差込の加入依頼書にご記入・ご捺印（銀行届出印）のうえ、返信用封筒にてご返送ください。
申込締切日	随時ご加入いただけます。（お手続きの翌月1日（午後4時）からの補償開始となります。） ※パンフレットのご請求、保険料につきましては、取扱代理店までお問い合わせください。

詳細につきましては、パンフレットをご覧ください。

お問合せ先【取扱代理店】

《北海道・東北・関東・北信越・四国地区》株式会社 第一成和事務所 東京都中央区日本橋久松町11-6 日本橋TSビル8F TEL0120-100-492

《東海・近畿・中国・九州地区》 海上商事株式会社 東京都渋谷区代々木2-11-15 新宿東京海上日動ビルディング TEL0120-745-748

このチラシは団体総合生活保険の概要についてご紹介したものです。ご加入にあたっては、必ず「重要事項説明書」をよくお読みください。ご不明な点等がある場合には、代理店までお問い合わせください。

【引受保険会社】東京海上日動火災保険株式会社

（担当課）公務第二部 文教公務室 〒102-8014 東京都千代田区三番町6-4  
TEL:03-3515-4133 FAX:03-3515-4132

2022年5月作成  
22-TC01328

## 1日目 2022年9月30日(金)

1日目	11:30	12:30	13:00	14:30	14:50	16:10	16:30	18:00
プログラム	受付		70周年記念式典		記念講演		テーマ別分科会	
部屋名	11:30～12:30		13:00～14:30		14:50～16:10		16:30～18:00	
センチュリールーム	受付	入場禁止	70周年記念式典	休憩	記念講演 (岸 博幸氏)	休憩	分科会 2	
クリスタルルーム								
桃山			P連 サテライト会場		P連 サテライト会場		分科会 1	
天平							特別分科会	
白鳳							分科会 3・幼稚園部会	
飛鳥							分科会 4・特別支援部会	
平安			全附後連 サテライト会場		全附後連 サテライト会場		全附後連会長会	
弥生	来賓控室							
東山	大会本部							
吉野	大会本部							

## 2日目 2022年10月1日(土)

2日目	8:30	9:00	10:00	10:55	11:15	12:35	12:55	
プログラム	受付	基調講演	省庁行政説明 全附 P 連活動報告		パネルディスカッション	閉会行事		
部屋名	8:30～9:00	9:00～10:00	10:00～10:55		11:15～12:35	12:35～12:55		
センチュリールーム	受付	基調講演 (高藤 孝氏)	省庁行政説明 全附 P 連活動報告	休憩	パネルディスカッション	閉会行事		
クリスタルルーム								
弥生	来賓控室							
東山	大会本部							
吉野	大会本部							





# 大会宣言

本連合会は、創立70周年を迎えました。新型コロナウイルス感染拡大の終息が見えない中、今できる最善の活動をめざし、活動を止めることなく進めてきました。新型コロナウイルス感染症をきっかけに、新しい生活様式が取り入れられ、子どもたちを取り巻く環境も大きく影響を受け、激動の時代を迎えています。今回、国立大学附属学校の保護者・教職員の皆さまと情報を共有することが重要であると考え、集合型とライブ配信のハイブリッド形式で「子どもたちとこの国の未来のために～附属がこれまでやってきたこと、これからやっていくこと～」をスローガンに掲げ、全附P連PTA研修会 第13回全国大会を開催しました。

本大会は、コロナ禍の影響を受けて気づかされた課題、グローバル化が高度に進んでいる中での現代社会の課題であるSDGsへの取り組みとICTを活用したPTA活動を取り上げました。附属学校の先進的な取り組み、地域と連携した活動など国立大学附属学校としての役割や特色を発信し、参加者が共に学ぶ機会となりました。保護者として関わられることを再確認し、国立大学附属学校の新たな可能性について積極的に検討しました。さらに、国立大学第4期中期目標・中期計画が策定され、それを基に、より国や地域に必要とされる国立大学附属学校となるための方策や今後の可能性について、共有することもできました。

当連合会では、子どもたちとこの国の未来のために、国立大学附属学校におけるPTA活動の振興を図り、国立大学附属学校の持つ社会的使命、存在意義などを国や地域に広く発信・共有し、さらに、国立大学附属学校がより公益的・公共的な役割を果たしていけるよう、積極的な活動を展開することをここに宣言します。

令和4年10月1日  
一般社団法人全国国立大学附属学校PTA連合会  
全附P連PTA研修会 第13回全国大会